

令和元年度がスタートしました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.70

R1. 9. 3~6 「前期期末考査」



今日から期末考査が始まりました。評価は多様な要素を鑑みながら付けられますが、期末考査は前期の学習の集大成的意味合いを持ちます。生徒自身もその大切さを十分に理解し、計画的に学習を進めてきたことでしょう。

社会の大きな変化に伴い、教育にも変革の波が押し寄せています。特に高大接続改革では、高校教育、大学教育、大学入試がセットになって大きく変わります。現2年次生からはいよいよ共通テストも導入され、未来を切り拓くのに必要な力が問われます。

3年次生は、仮評定を持って、いよいよ受験へと突入します。時間は決して待つてはくれません。一日たりとも疎かにできない日々がしばらく続きますが、皆さん一人一人が全力で乗り切ってくれるものと信じています。



All for one, and one for all. No.71

*エイリョウ・アラカルト 「校内研修」

本校では、教員一人一人の総合的な教育力の向上を図るため、部活動が休みとなる定期考査期間等を活用して年4~5回の校内研修を行っています。

今回は「小論文指導」をテーマに、その道のエキスパートを講師としてお招きし、受験に向けた小論文添削について研修しました。

昨今のAOや推薦入試には必ずと言って良いほど小論文が課されます。そのため、3年次生の小論文には全教員が関わり、添削等の指導にあたります。受験する上級学校により出題傾向も内容も字数も変わるだけに、きめ細やかで的確な指導が要求されるわけです。講師の話に耳を傾け、演習に取り組む姿は真剣そのものでした。



All for one, and one for all. No.72

R1. 9.12 「シェイクアウト」

北海道胆振東部地震から1年、今だに被災地には大きな傷跡が残り、何より多くの被災者のことを想うと今も胸が締めつけられます。また、北海道全域を一瞬で暗闇にしたあのブラックアウトの恐怖と不安も、私たちの記憶に深く刻まれています。



現在も全道各地で天災が起こり、予期せぬ大きな被害をもたらしています。天災は人の力だけではどうすることもできません。だからこそ、そうした経験を教訓に変え、あらゆる



事態から自らの身を守る術を身につけておくことが大切です。

15:30、突然の地震を想定した緊急放送が校内に流れました。生徒は放送の指示で、①姿勢を低くし、②頭を守り、③揺れが収まるまでじっとしています。3年前より実施している「北海道シェイクアウト訓練」です。生徒の安全を第一に考えた教育活動は今後も継続していきます。

All for one, and one for all. No.73

R1. 9.17 「生徒会執行部役員選挙」

新しい生徒会執行部が誕生しました。重責を担ってきた3年次の石井 はるかさんをはじめ旧執行部の皆さん、本当にお疲れ様でした！850名近い生徒の意向をとりまとめた生徒会行事の企画運営には、経験した人にしかわからないご苦労があったことと思います。旧執行部の皆さんには、改めて心から敬意を表します。



新会長には2年次生の佐々木 柊さんが、副会長には同じく2年次生の舟木 美紀さんと1年次生の高橋 瑚流君が立候補し、それぞれ信任されました。新たな歴史を築き始めて3年半、様々な課題解決に精力的に取り組んできた生徒会の皆さんのお蔭で、素晴らしい学校の礎が出来つつあります。新執行部の活躍にも大いに期待しています！